

関西部会の部会運営

立命館大学 播磨谷浩三

関西部会では、基本的に報告希望者を募る形式で、これまで1年に1回か2回の頻度で研究会を開催してきた。討論者を設けず、報告途中での質問を許容するセミナー形式での開催が基本である。開催場所は、各年における部会幹事の所属先である大学の教室や会議室を使用してきた。ただし、2014年から2016年にかけては会場の確保等に支障を来し、一度も開催することができなかった。

2017年7月から再開したが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、2020年3月に開催予定であった研究会は直前に中止となった。2021年7月に完全オンライン開催で再開し、2022年9月にはオンラインと対面とのハイブリッド開催を、2023年7月には完全対面での開催を行った。

他方、コロナ禍前と比較して参加者数が減少しており、部会所属会員の興味、関心をいかに高めるかが課題となっている。関西部会以外への報告希望者の募集拡大や共通論題の設定など、他の部会での先例にならないながら部会運営の改善を図っていきたい。なお、直近10年間の研究会の概要は以下の通りである（報告者の所属先は開催時点のもの）。

日時：2014年1月25日（土）午後2時より

場所：関西大学 千里山キャンパス内 100周年記念会館ホール内 第6会議室

第1報告 北野友士 氏（金沢星稜大学）

「イギリスにおける金融規制監督アプローチの変化と課題」

第2報告 田中敦 氏（関西学院大学）

“Central Bank Exit Strategies and Credibility: A Simple Dynamic Optimization Model”

日時：2017年7月15日（土）午後2時より

会場：関西大学 梅田キャンパス

第1報告 井田大輔 氏（桃山学院大学）

“The role of money and optimal monetary policy in a two-country economy”

第2報告 福嶋幸太郎 氏（大阪ガスファイナンス・京都大学大学院経済学研究科後期博士課程）

「CMS キャッシュ・プーリングの経済的効果と運用課題」

第3報告 田村英朗 氏（神戸大学）・松林洋一氏（神戸大学）

「不確実性を考慮する資産価格付けモデルの Hansen and Jagannathan 変動境界に基づく評価-日本および米国データに基づく検証-」

日時：2017年11月11日（土）午後2時より

会場：甲南大学 岡本キャンパス 第6会議室（9号館4階）

（歴史部会の合同部会として開催）

第1報告 平山賢一氏（埼玉大学大学院）

「戦時金融統制と五大銀行の有価証券投資－バランスシート拡大と有価証券価額償却の役割－」

第2報告 岩間剛城氏（近畿大学）

「1973年の宮城県における企業と金融機関の取引関係－『宮城県産業総覧』による分析－」

第3報告 英邦広氏（関西大学）

「マイナス金利政策導入による金融市場への影響」

日時：2018年4月28日（土）午後2時より

場所：同志社大学 今出川キャンパス 至誠館3F会議室

第1報告 松本宗谷氏（同志社大学大学院）

「東証における情報の非対称性と市場流動性」

第2報告 西山慎一氏（神戸大学）

“The Time-Varying Volatility of Financial Shocks in Macroeconomic Fluctuations: Financial-Friction-DSGE model with Stochastic Volatility Shocks in Data-Rich Environments”

第3報告 張南氏（広島修道大学）

“Measuring Global Flow of Funds: A Case Study on the U.S. Japan and China”

日時：2018年6月16日（土）午後2時より

場所：関西大学 梅田キャンパス 703教室

第1報告 星野聡志氏（神戸大学大学院）

「日本経済における金融的摩擦と景気循環に関する分析：ベイジアンDSGEモデルによる考察」

第2報告 山本周吾氏（山口大学）

”Spillover Effect of Non-core Liability in the Euro Area

第3報告 田中孝憲氏（関西大学）

“Gender diversity on Japanese corporate boards”

日時：2019年7月6日（土）午後3時より

場所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス 10階 1002教室

第1報告 梅根嗣之氏（神戸大学大学院）

「企業のグローバル化と現金価値－資金制約と成長機会の寄与－」

第2報告 竹本亨 氏 (帝塚山大学)

「学歴や金融教育が金融リテラシーと行動バイアスに与える影響ー「金融リテラシー調査」を利用した分析ー」

日時：2021年7月17日(土) 午後2時より

場所：Zoomによるオンライン開催

第1報告 福嶋幸太郎 氏 (芸術文化観光専門職大学)

「新型コロナ経済危機下のCMS対応能力」

第2報告 海野晋悟 氏 (香川大学)

「インフレ観・期待に影響を与える要因に関する実証分析」

第3報告 岩壺健太郎 氏 (神戸大学)

“The role of cognitive and non-cognitive skills and behavioral bias in the FX margin trading: Evidence from survey and transaction data”

日時：2022年3月12日(土) 午後2時より

場所：Zoomによるオンライン開催

第1報告 武田佑太 氏 (札幌大学)

「ジューグラーの景気循環論とフランス銀行ー近代における中央銀行機能の形成に関する一考察ー」

第2報告 中岡孝剛 氏 (近畿大学)

「わが国銀行業における望ましくないアウトプットを用いた生産性変化の測定」

第3報告 岩壺健太郎 氏 (神戸大学)

“Dealership versus Continuous Auction: Evidence from the JASDAQ Market”

日時：2022年9月24日(土) 午後2時より

場所：同志社大学 今出川キャンパス 扶桑館 5階 F513 教室

(Zoomとのハイブリッド開催)

第1報告 久納誠矢 氏 (同志社大学)

「取引所外取引を考慮した執行問題」

第2報告 森祐司 氏 (高崎経済大学)

「地域銀行の顧客満足度の決定要因」

第3報告 小原篤次 氏 (長崎県立大学)

「東アジアの株式市場の連動性についての分析」

日時：2023年7月30日(日) 午後2時より

場所：関西大学 梅田キャンパス 705 教室

第1 報告 英邦広 氏 (関西大学)

「リーマン・ショック後とコロナ・ショック後の経済動向」

第2 報告 藤原賢哉 氏 (神戸大学)

「新型コロナ感染流行前後の消費者行動の変化と各種政策キャンペーンの効果について」